



「しげき」のある町づくり!

平成26年11月号

〒626-0412 京都府与謝郡伊根町字津母570
電話 090-8827-3858ホームページ <http://ameblo.jp/shige-king/>

http://www.facebook.com/shigeki.hamano

継続は絆なり!

Shigeaki Hamano



の議会となりました。

引き続き、皆様の町政に対する思いを強く自覚し、これまで以上に皆さまと同じ視線で、議論し、行動し、汗をかいてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

9月9日に召集された定例会が現任期最後

しまして、深いご理解と力強いご支援を賜つてまいりましたことを重ねて厚く御礼申し上げます。

命の道(大浦から亀山間) バイパス整備促進協議会 の立ち上げへ!

しっかりと制定は見合わせていない。

地方のことは地方が決める!

地方分権の流れができ、2000年に国から地方に大きく権限が委譲されました。

人口減少に直面する中で、充実が求められている子育ての環境、介護の問題、更に地域活性化における雇用や産業施策など、山積する課題にどう向き合っていくのか、住民の代表として選ばれた議員からなる地方議会の重要性はかつてないほど高まっています。

重い責任を担うことになった地方議会。

その役割は地域の人々の意思と利益を代表し、強い権限を持つ行政を監視し、民意を反映した政策を実現させていくことです。

ところが、政務調査費の不正受給の問題や暴言等、地方議会議員による不祥事が相次ぎ、議員の資質が問題視される中で、議員の数が多いなど、様々な批判にさらされています。

議会は不要だという声まであります。議会は、今、存在意義が問われる状況となっています。地方自治は、執行機関と決定す

る機関、二元が代表して機関競争しなければなりません。

首長から提案された議案を法律的責任、道義的責任、説明責任の3つの責任も果たさずに、ただ、追認している議会であれば、議会不要論もいたしかたないと思いま

す。

議会活性化特別委員会では、休日議会やライブカメラ等の意見もありましたが、成果となつたのは、議場へのパソコンの持込等が認められただけあります。

我々に対し、厳しい目が向けられていながら、このピンチをチャンスとして、真の議会活性化を断行し、二元代表制の一翼として、民意を反映した政策を実現させていくことが必要だということが、求められていると私は考

空き家利活用モデルをつくるべきだ!

廃屋、空き家の増加により景観、地域防犯や環境等多方面にわたる問題が深刻化している。空き家バンク制度による定住移住支援には限界がある。

Q 危険な廃屋などの撤去に向けた指導・勧告、撤去を条例制定も含め行つべきだ。

A 一部自治体では制定されているが、所有者を把握する方法が難しく、制定しても実効性に乏

い。地域が一体となって活動をしていくしかない。

まずは、地元が過去の養老・伊根バイパスや蒲入バイパス整備要望にならって自らの協議会を立ち上げ、活動を積み上げていくことで、町の応援体制も組め、今以上の要望活動もできる。協議会立ち上げについて区長協議会に相談する。

A 地域課題に横断的に取り組めるようなまちづくり会社を立ち上げるべきだ。

A 空き家活用も含め、行政に頼りひとも運営していく方法を検討していただければ、町としてもできる限りの支援を検討する。

Q 地域課題に横断的に取り組めるようまちづくり会社を立ち上げるべきだ。

A 空き家活用も含め、行政に頼りひとも運営していく方法を検討していただければ、町としてもできる限りの支援を検討する。

Q 地域課題に横断的に取り組めるようまちづくり会社を立ち上げるべきだ。

9月定例議会では通算11回目の一般質問に登壇させていただきました。

地域の特性を生かした手法が空き家対策には必要。一定の期限を切り、固定資産税増額措置などを検討するべきだ。

Q 地域税法の規定に基づく町税条例に則つて、課税してあり増額措置は考えていらないが、固定資産税における6分の1特例の撤廃を国へ要望している。

浜野しげきは12回の定例議会の中で、質疑として発言したのは「34回」を数えました。

た議会、平成23年第4回定例議会から平成26年第3回定例議会における質疑の発言回数を議事録を元に計算してみました。

浜野しげきは12回の定例議会の中

で、質疑として発言したのは「34回」を数えました。



浜野しげき

<http://www.facebook.com/shigeki.hamano>

「しげき」のある町づくり!

平成26年11月号

〒626-0412 京都府与謝郡伊根町字津母570
電話 090-8827-3858ホームページ <http://ameblo.jp/shige-king/><http://www.facebook.com/shigeki.hamano>

継続は絆なり!

Shigeaki Hamano

たくましく、やさしく、
誇りある伊根町へ！

9月定例議会では決算討論にも登壇いたしました。

全文はオフィシャルウェブサイトにて掲載しております。

堅実かつ良好な決算だが、地方交付税等に依存した財政運営で先行き不透明な情勢が続く中、大変厳しい状況に変わりはない。義務的経費の動向に配慮し、更なる財政基盤の強化を図り、事業の緊急性、必要性、重要性を見極めた上で、財源の重点配分と効率的・効果的な経費支出に工夫を重ね、ますますの勇気ある改革と見直し、節減が引き続き必要だ。収入未済額が前年度より増えている。介護保険並びに後期高齢者医療特別会計の不能欠損は、税及び料金のむづ、負担の公平性が確保されていない。本議案のこの不能欠損部分に対する説明責任を全うすることができず、承認することができない。保険制度は、国と合意制度であり、徴収できなかつたので、できないよう、負担の公平性を確保すべきだ。次年度以降、安易に不能欠損する)ことがないよう、法律等に基づき、積極的な収納業務に努められたい。

political activity



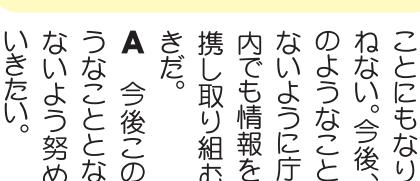
自由民主党女性局の三原じゅん子参議院議員と固い握手！



自民党京都府連青年局 本田太郎次長と固い握手！ 本田次長は来春4月施行予定の統一地方選挙（京都府議会議員選挙）の宮津市・与謝郡選挙区の第一次公認候補者です。



当選以来、週一回、雨の日も雪の日も続けてまいりました朝の街頭挨拶も、100回を超えた！



A 今後このよ

うなことなら

ないよう努力

いただき。

◆こんな質問しました！

決算質疑では、事業構造はどうか、事業の目的は何か、目的に対して成果は出たのか、費用対効果や、目的の達成度などの観点から考え方、実施したこととは意味があるのか、継続する必要があるのかなどを考察し質問いたしました。

決算質疑は1年の決算を審議し、来年度に組まれる予算に議員が物申す機会であります！質問内容の一部を紹介させていただきます。

更なる地産地消の推進を！！

2014年3月末現在、道の駅として登録されている駅は1300駅。道の駅は休憩所としての機能はもちろん、地域の情報発信や特産品販売などその土地なりのサービスを提供されている。また、災害時には防災拠点としても利用されるなど、その役割は広がっている。現在、当町の主要観光施設である道の駅「舟屋の里公園」は指定管理者制度により、伊根町ふるわと振興公社に委託され、入込み及びテナントの売上合計額が増加している。関係者のご努力の成果は評価したい。

しかししながら、京丹波町にある同じ道の駅「和」では、平日でも、京阪神や遠方がらたくさんの方が地元の野菜を求め、にぎわっている。舟屋の里公園において地元食材を使っているのは仕入れの2割から3割。これでは道の駅とは言えない！！

A 言葉通り、地産地消の推進を進めています。しかし、現状では、道の駅の多くは、主に観光客のための施設であり、地元の農産物の販売が少ないのが現状です。そこで、地元の農産物を更多的に販売できるよう、道の駅での販売促進策を検討しているところです。

Q 伊根町ファンを増やすことで、特産品等の販路開拓が目的として、ふるわと特産品や優待券が贈呈され、平成25年度、2社が委託先となっている。具体的に特産品等の販路開拓にどのように繋がっているのか、また、行政はどの程度まで把握されているのか？

A 販路開拓に繋がっているかどうかは把握していない。次年度以降は把握に努める。行政はどの程度まで把握されているのか？

Q 介護保険制度は、介護を国民皆で支え合う制度だ。今回、3名分の保険料が不足処理された。1名につけては行方不明による不存在。2名につけては、単なる徴収できなかつた時効だ。介護保険料、後期高齢者医療保険料は地方自治法第231条の3条により処分することができる徴収で、時効は2年。当然、担当者はもちろん、担当課長、課長補佐もそのことを知っていたはずだ。徴収できなかつたので、不能欠損処理では、被保険者間の負担の公平を確保することができない。財産調査を含め、どのような徴収計画を立て、対応にあたられたのか。

A 今後、このようないつなりないよう努めていく。徴収計画を立て、対応にあたられたのか。

Q 地方税法では、「地方団体の徴収金」つまり、滞納者の財産を差し押さえなければならない。ところが、担当者は職務を放棄されてしまった。

A 今後、このようないつなりないよう努めていく。これは、納期内にきちんと納付しておらず、滞納の特集が組まれるなど、特産品等の送付については、適切に良識をもって対応する」とやるなどと納税に係るPRを積極的に行つて、等の総務省からの事務連絡もある。ふるわと納税のお礼をこれ以上豪華にすぎきだとは思いませんが、この右肩下がりの現状を打破するにむか、積極的なPRを

うに週に2回、朝市を開催するなど、飲食店、おみやげ物店を含め、当町の地産地消推進方針に基づき、積極的な地元産品の使用をすりはじが地域産業の活性化に繋がる。地産地消の推進に努めねばいけないことを伝え、推進していただきよう指導す

収納率の向上を！！

今回の決算の特徴は、収入未済が多いことがあげられる。しかしながら、一部の課では努力が見受けられる収納率となっている課もある。その点は素直に評価したい。

國のべきだ。予定はあるのか？ さし納税の普及に積極的に努めねばならない。

あらゆるパイプを構築・駆使して京都・伊根町の声を国政・府政へ届けてまいります。

皆さまのご意見・ご要望等をお聞かせ下さい。行政・議会に関するご相談は浜野しげきにお気軽に寄せ下さい。

TEL 090-8827-3858 FAX 0772-32-0106

MAIL hamano_s@nifty.com

Official web site 浜野しげき

<http://ameblo.jp/shige-king/>

Facebook ページ「伊根町議会議員 濱野茂樹」

<http://www.facebook.com/shigeki.hamano>



浜野しげきは、皆さまと同じ視線で、議論・行動し、汗をかいてまいります。皆さまのご意見・ご要望等をお聞かせ下さい。

町議会議員は何でも相談屋なんで、遠慮なさらずにお声かけくださいませ！まずはお電話を！

「し」少子高齢化福祉対策

高齢者や子供たちに優しい町づくりをすすめます。

「げ」経済の活性化

農水産業施策の充実と観光業の活性化による雇用の創出と地域経済の活性化をすすめます。

「き」郷土愛

社会基盤・環境整備の促進を図るとともに定住できる町づくりをすすめます。